

ウイルス分離及び抗原検出情報 2009年

仙台市内病院

検体採取日

		第44週	第45週	第46週	第47週
		10月26日～11月1日	11月2日～11月8日	11月9日～11月15日	11月16日～11月22日
インフルエンザウイルス	A(H1)型	55	46	32	2
	A(H3)型	0	0	0	0
	B型	0	0	0	0
	C型	0	0	0	0
	解析中	0	0	3	24
パラインフルエンザウイルス	1型	4(3)	3	7(4)	0
	2型	2(1)	0	0	0
	3型	0	0	0	0
	4型	0	0	0	0
RSウイルス	0	2	4	1	
ムンプスウイルス	0	0	0	0	
麻疹ウイルス	0	0	0	0	
アデノウイルス	2(1)	0	0	0	
エンテロウイルス	0	0	0	0	
ライノウイルス	0	0	0	0	
単純ヘルペスウイルス	0	0	0	1	
サイトメガロウイルス	1	0	0	0	
その他のウイルス	0	0	0	0	
未同定	0	0	0	0	
分離総数 / 検体総数		64 / 102	51 / 84	47 / 73	28 / 97

抗原検出状況 2009年 第47週 (2009年11月16日-2009年11月22日判明分)

仙台医療センター	件数	陽性数
インフルエンザウイルス	63	18 (A18)
RSウイルス	5	1
ロタウイルス	1	0
アデノ(呼吸器)	4	1
アデノ(眼科)	0	0
アデノ(便中)	1	0
水痘帯状疱疹	0	0
単純ヘルペス	0	0
検査検体総数	74	20

コメント:新型インフルエンザウイルスの流行が継続していますが、第43週頃からパラインフルエンザウイルス(主に1型)も多く分離されるようになってきています。

なお、これらの成績は主に以下の医療機関から定期的に送られてくる検体を解析したものです。

*永井小児科医院、庄司内科小児科医院、仙台医療センター

独立行政法人国立病院機構仙台医療センター
臨床研究部ウイルスセンター 2009年11月24日